



中村宗祐氏

植田博司氏

松岡昭伸氏

宮下幸雄氏

座談会

「ペーパーレス化」について考える

【出席】

植田 博司氏
植田社会保険労務士事務所
代表
(中讃第2支部)

宮下 幸雄氏
事務局
事務局長

中村 宗祐氏
広報・情報化委員会
IT部会長
(中讃第1支部)

【司会】

松岡 昭伸氏
広報・情報化委員会
編集長
(中讃第2支部)

「ペーパーレス化」とは

司会 本日の座談会のテーマは「ペーパーレス化について考える」ですが、今回のみなさんのお話がペーパーレス化を考えている同友会の会員のみなさんのお役に少しでも役立てればと思っています。しかし、決してペーパーレス化を押し付けるものではなく、あくまでも経営者としてここはこういうふうにご利用すればいいですよというような参考情報の提供ができればと考えています。それでは中村さんにお聞きしますが、そもそも「ペーパーレス化」とは、どういうものなのでしょうか？

中村 ペーパーレスは「紙を減らすこと」を意味します。具体的には、紙に印刷していた資料をデータで共有することなどです。例えば、新聞・雑誌・本の電子化・バーコードを活用したコンビニ決済・ICカードを使った電車への乗車などです。現状としては、現在ペーパーレス化がどれくらい進んでいるかを考えるときに、日本製紙連合会のデータが参考になります。日本製紙連合会が発表しているデータによれば、用紙といった紙の需要は、ペーパーレス化によって減りつつあります。それでも、企業で使う印刷・情報用紙の総量は16年のデータで80万トンを超えており、現在でもたくさんの紙が使われています。また、データとして保管してもよい書類ですが、書類の中でも法定文書については、「e・文書法」に

よって定められています。e・文書法が施行された後には、決算書類・契約書・領収書などの書類をスキャンして電子データとして保存できるようになりました。書類をデータ化し、紙を減らすことは政府も推し進めています。

取組みの実例

司会 それでは、早くからペーパーレス化に取り組まれている植田さんにお話を伺います。

植田 私が社労士になったのは今から15年ほど前ですが、丁度国の施策として煩雑な事務手続きの電子化が始まった頃で、事務所から電子申請で行政のほうに手続きをすると、行政から電信状態で返ってくるという、そんな時期でした。ただし、当初は非常に面倒で従来通り紙で申請したほうが簡単な印象がありました。



た。しかし、おそら

くこれからは電

子化がどんどん

進むのではない

かという憶測が

あったので、早い

段階から取り組ん

できました。要するにペー

パーレス化というよりは、電子化に取り

組んだ形です。それまでは、紙の用紙の申

請書に事業主に判をもらって、それを

持って行政に行くという形だったので、

移動時間も結構かかっていました。電子

化をすると、必要なデータを頂ければ会

社の判の代わりに我々の電子証明書、代

行をしてもいいですよという証明書を付

けて提出すると、電子データで我々のと

ころへ返ってくるので、移動時間等が非

常に削減できます。そんなことから電子

化に積極的に取り組んできました。それ

から、データ保存をしていると外にいて

も必要な書類が確認できる便利さも大き

いですね。お客様とのやり取りも専用の

回線で、さらにマイナンバーでさせても

らっているのです、セキュリティの面でも

安心です。また、これは短所になるのかも

しませんが、今動いている情報と残し

ていく情報をどうやって切り分けてどう

データ化していくかという問題がありま

す。ただし、データ化すると必要なときに

過去の資料がすぐに見られるので会議な

どではとても便利だと思っています。



ペーパーレス化で

事務所がスツキリ

司会 ペーパーレス化で会社はどのよう

に変わりましたか。

植田 探しものが圧倒的になくなりました。それから書類などを置かないので事

務所がスツキリしました。データ化のメ

リットの一つに情報管理があります。

ファイル名やキーワード検索で、アクセ

スすると、すぐに目的の文書が見つかり

ます。また、その文書をもとに新しい文

書も簡単に作成できるので、情報管理と

して必要ではないかと思っています。

司会 植田さんが取り組まれたペーパー

レス化は、どんな仕事だと効果が高いと

思われますか。例えば、紙の節約から考

えると紙をたくさん使う職種が効果が高

いように思います。

植田 職種なのか部署なのか、例えば総

務や経理は結構使うと思います。



司会 宮下さんにお聞きしますが、同友会の資料は結構多いのではないのでしょうか。

宮下 資料は多いです。定額の使い放題のプリンターを使っていたのですが、業者の方から使う量が想定外だそうでもう勘弁してくださいと言われるほど使っています。

司会 会議の資料だけでも大変な量ですからね。

同友会のペーパーレス化

宮下 植田さんのお話を聞いて感じたことですが、ペーパーレスが前面に出てくると、どうしても違和感があるので、作業の効率化とか移動の効率化等々、それぞれの目的によって変わってくるように思います。理事会でペーパーレスにするので、事前に資料を送りますから、デー

タをプリントアウトして持参していただきたいと連絡したら、会員の方から、「それってちょっとおかしくないか」という話になり、「それなら理事全員にタブレットを配ったらどうだろうか」という話になったりしました。ですから、目的をペーパーレスにしてしまうと、たしかに事務局での印刷はなくなっても、他で印刷するので同じではないかということになるわけです。

植田 会議の資料が紙だと、印刷して綴じて配る時間はすごいと思います。

司会 中村さん、プロの目から見てこんな活用法がありますよというのがあれば教えていただけますか。

中村 ソフトの部分ですが、検索するときにはファイル名だけでなく中身の検索までできるような形で残すと、探す時間が短縮できますし、探しやすくなります。また、資料をデータベースで電子化しておくことで、自分だけでなく関係者全員の情報共有ということで、みんながアクセスできる場所だと新しい会員の方にも過去の情報を簡単に提供できます。要するに、ある文書を大勢の人間が閲覧できますし、同時に複数の人に配信することもできますから、その点はとても便利だと思います。

司会 同友会に限らず他の会でも同様

ですが、一度決まったことを繰り返し議論する場合は結構あります。そんなときに簡単に過去の資料が検索できれば、同じことの繰り返しにならないで済みますし、無駄な議論の時間が省略されます。これは同友会だけでなく会社内でも有効なことだと思います。

ペーパーレス化は手段であって目的ではない

司会 植田さんがペーパーレス化に取り組まれた経験から、注意点やアドバイスのなことがあれば教えてください。

植田 ルールづくりですね。何をどうするかというところ。これはするとかしな



いとか、何を残して何を残さないとかですが、そういうもののルールをきちんとつくることです。個人、あるいは各会社でルールはあると思いますが、ルールを決めたら必ずそのルールに従って物事を進めなければなりません。部下が守っているのに、決めた上司や経営者が守らないケースが結構見受けられるので、決めたルールは全員が守ることが肝要です。結局のところ、ということがしたいかが先だと思います。それが、たまたま電子化かもしれませんが、ペーパーレスはあくまでも手段であって目的ではありません。うちの会社はどういうことをやりたいか。どういう業務効率をしたいかがまず先にあって、その手段がペーパーレス化かもしれませんし、もしかしたらただ単に整理整頓ができていないだけかもしれないません。そのあたりをしつかり踏まえてからの取組みでないと、途中でわけがわからなくなる可能性があります。



ペーパーレスが手段ではなく目的にならぬようしっかりと見極めてほしいと思います。

司会 会社をどうしたいのか。というルールにしたのかを決めていくなかで、良い会社をつくっていく手段の一つとしてペーパーレス化があり、それは無理に進めるものではなく、役立つところはあるが、注意しなければならないところも多々あるということ。これはあくまでも私の印象ですが、そんな中でより有効な取組みは必要資料のデータ化と紙媒体のミックスです。両方をそれぞれの役割に応じて使い分けるととても便利だと思えます。資料はデータ化と紙媒体の両方を上手に活用というのが今のところの結論です。それから、植田さんのお話を聞くまでは、セキュリティや漏えい等の問題が気になっていたのですが、お話ではむしろ電子化したほうがセキュリティは安全だということだったので、その進化を改めて実感しました。

やりたいこと、したいことを明確に
司会 ペーパーレス化を進めていきたいと考えたとき、どこに相談すればいいのかというと、既に取り組んでいる先輩会員の皆さんの声を聞きながら、いいところを吸収していけるような役割を広報・

情報化委員会が担うことができればと思います。

植田 各種メーカーさんは大いにやっていると思います。

宮下 ただ、うち是这样いうようなことができるようになりたいとか、したいとか、それを明確にする必要があると思います。それがはっきりしていれば、メーカーもそれを実現する方法を考えればいいわけです。事務局としては、例えば企業情報だけでなく、何月の例会でこういう報告がありましたという内容が、個人個人の中でデータとして残っていけるようになれば、データベースとして活用範囲が広がると思います。





ペーパーレス化のメリット、デメリット
司会 これまでのお話しをふまえて、ペーパーレス化のメリットとデメリットについて中村さんにまとめていただきたいと思います。

中村 メリットですが、印刷費用の削減、求めている資料が探しやすい、いつでもどこでも書類を閲覧・承認できる、セキュリティ対策ができる、書類が少なくなるのでオフィスの整理整頓が簡単でスッキリするということです。デメリットは、重要な書類はデータにできない場合がある、画面の大きさによって見やすさが左右される、システムやネットワークなどの影響を受けます。また、ITに不慣れた人には使いづらいです。

ペーパーレスを実現するには？

司会 具体的にペーパーレス化を実現するための方法は、どのようなものがありますか。

中村 大きく分けて三つあります。一つ目は、タブレットを利用する。

二つ目は、最初は紙とデータを併用。三つ目は、会社として保存・管理する文書を決めるということです。それぞれ詳しく説明します。

① タブレットを利用する

いくら書類がデータ化したからといっても、確認のためにパソコンを開くのは手間です。また、スマートフォンほどの画面サイズでは、書類の確認は難しいです。そこで使いたいのがタブレットです。手軽に取り出し、画面サイズも十分、インターネットにもアクセスできますので、クラウド上の書類にも簡単にアクセスできます。

② 最初は紙とデータを併用する

今までは紙だったものが、一気にデータ化すると混乱する場合がありますので、会議でも紙の資料とデータの資料の二つを用意する期間があると思います。

③ 保存・管理する文書を決める

どの書類をデータにして、どの書類は紙のままにするかを決めることが、ペーパーレス化には非常に重要なことです。

司会 ペーパーレス会議システムは、どうでしょうか？

中村 ペーパーレス

ス化を進めるためには、ペーパーレス会議システムの導入も一つの手段です。どれも基本はPCなどのタブレットを使うシステムです。操作性、セキュリティ、価格など、それぞれに特徴があるので、比較しながらの検討をおすすめします。

最後に

司会 ペーパーレス化の目的は、印刷にかかるコストの削減、会議など仕事の効率アップ、資料検索性の向上にあることがわかりました。いたずらに資料をデータ化するのではなく、紙のほうが便利な資料は紙として利用することも必要ということも学びました。ペーパーレス化に失敗しないためにも、じっくりと取り組んでいくことが大切です。本日はペーパーレス化についてお話をお聞きし、皆様と一緒に考えてきました。貴重なご意見をありがとうございました。

